

## 「JPシートのチェック機能 AND条件を使いこなす」

JP分析メニューのチャートで、JPシートのサインを表示させる事をチェック、またはチェック機能といいます。

通常このチェック機能は、OR条件です。



例えば、1番シートと2番シートをチェックした場合、それぞれのシートに合格した日にサインが表示されます。

では1番シートと2番シート両方に合格した日について、チェックしたい場合はどうすればいいのでしょうか？

それはAND機能を使います。

この機能は、JP法株価分析システムにはありません。JP2000ソフトにのみあります。

JP分析メニューのチャートから、「条件」－「自動チェック設定」



ここにAND条件があります。

自動チェック

しない  する

条件シート番号

0 番 ~ 0 番

チェック方法はどちら?

ORチェック  ANDチェック

どうして今回この解説をするのかというと、6月1日にJPシート408番とハイローバンド型のサインが同時点灯したからです。

上記2つの条件に合格した日のみサインを表示させたい場合、どうすればいいのでしょうか・・・?

ハイローバンド型のサインとは、3日が買い転換、15日が買い場というものです。

この条件は同時に2本のハイローバンドを見ているので1つのJPシートでは表現出来ません。

WORKシートでは、同時に3本までチェックする事が出来るため、通常こちらを使います。JPシートは使いません。

では、これをJPシートでチェックするにはどうしたらいいのでしょうか?

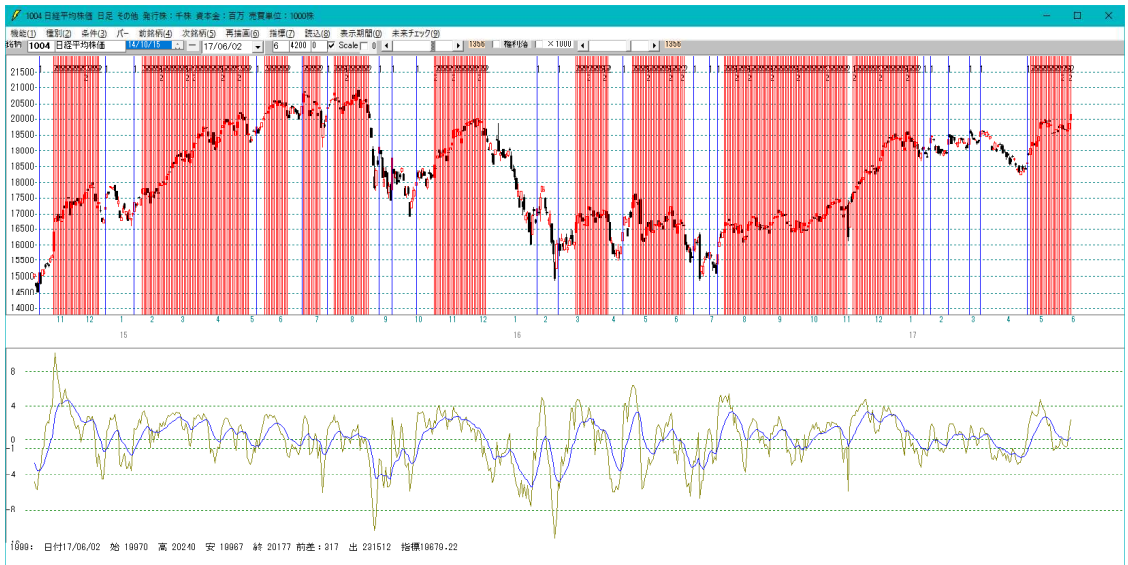
それは、2つのシートを作りAND条件としてチェックする事によって出来ます。

1つのシートは、3日ハイローバンドが買い転換

もう1つのシートは、15日ハイローバンドが買い場というものになります。



普通にチェックしてしまうと、OR条件なのでこうなります。



これをAND条件とする場合は下記のように設定します。

もし、1番から5番、全てに合格した日を調べたい場合は、こうなります。

## 1番と2番同時点灯ポイント



WORK分析だとなります。



当然、JPチャートでもWORKチャートでも同じ日に点灯します。

ここまでの解説で、当初知らなかったサインであるJPシート408番とハイローバンド型の同時点灯したポイントのチェック方法は分かりますね。

大きく分けて2つやり方があります。

1つは、408番、3日ハイローバンド買い転換、15日ハイローバンド買い場の条件をANDチェックする事です。

この場合、3つのシートは連番でなければいけません。

1番、2番、408番といった感じは出来ません。

連番にするので、1番、2番、408番を3番シートへ保存しANDチェックします。

## 408番を3番シートへ保存する方法

408番シートを開き、「保存」をクリック、「3」と入力します。

これで408番シートは3番シートへ保存されました。上書きコピーと一緒にです。

※3番シートにあらかじめ条件が入っていたら、消えてしまいますのでご注意ください。

1番から3番とします。

## 直近



## 全期間



もう1つは、408番と3日ハイローバンド買い転換を1つにまとめ、それと15日ハイローバンド買い場の条件をANDチェックする方法です。

※408番と15日ハイローバンド買い場の条件を1つにまとめてもいいです。

408番と3日ハイローバンド買い転換

3番シート

JP法分析シート 日足用 3番

コメント 日経平均 買いサイン-8- 上場中の買い

短期弾性値 以上	短弾	向き		最高値 周期		出来高比率 以下	JPシート合格値数 以上
短期弾性値 以下	中弾	向き		最高値/安値 以上		当日終値 以上	Sコストカイリ 周期
中期弾性値 以上	長弾	向き		最高値/安値 以下		当日終値 以下	スムージング乗数
中期弾性値 以下	MAV	向き		最安値 周期		何日前の条件とするか	以上
長期弾性値 以上	短期M	向き		最安値/高値 以上		貸借倍率 XX週間	以下
長期弾性値 以下	中期M	向き		最安値/高値 以下		貸借倍率 以上	向き
MAV指標 以上	生短弾	向き		長コスト/前日安値 以上		貸借倍率 以下	
MAV指標 以下	生中弾	向き	4	長コスト/前日安値 以下		最安値周期	
短期M指標 以上	生長弾	向き		長コスト/前日高値 以上		安値/最安値 以上	
短期M指標 以下	短コスト	向き		長コスト/前日高値 以下		安値/最安値 以下	
中期M指標 以上	長コスト	向き		生短弾/短弾 位置		日柄 以上	
中期M指標 以下	短/長コスト 位置			終値/高値 以上		日柄 以下	
生短弾性値 以上	短コスト上・下抜き	1		終値/高値 以下		最高値周期	
生短弾性値 以下	長コスト上・下抜き			終値/安値 以上		高値/最高値 以上	
生中弾性値 以上	短長DC後日柄 以上			終値/安値 以下		高値/最高値 以下	
生中弾性値 以下	短長DC後日柄 以下			新値 周期		日柄 以上	
生長弾性値 以上	短長GO後日柄 以上			安値更新本数 以上		日柄 以下	
生長弾性値 以下	短長GO後日柄 以下			安値更新本数 以下		騰落レシオ 周期	
最安値 周期	短弾/中弾 位置			高値更新本数 以上		以上	
最安値比率 以上	中弾/長弾 位置			高値更新本数 以下		以下	
最安値比率 以下	短弾/長弾 位置			足取り・5本設定		向き	
最安値日柄 以上	陽線・陰線?	1		ハイローバンド 周期	3	前日 以上	
最安値日柄 以下	高値切り上・下がり	1		ハイローバンド 周期	4	前日 以下	
最高値 周期	安値切り上・下がり	1		短中M間カイリ 以下		50V加重移動平 向き	
最高値比率 以上	RJ指数 以上			出来高水準 周期		短/50 位置	
最高値比率 以下	RJ指数 以下			出来高水準 以上		長/50 位置	
最高値日柄 以上	RJ指数 向き	4		短中M間カイリ 以上		連続安値更新本数以上	
最高値日柄 以下	最高値・最安値 周期			MACD①(4-20) 向き		連続安値更新本数以下	
出来高倍率 周期	最高値/最安値 以上			MACD②(5-20) 向き		連続高値更新本数以上	
出来高倍率 以上	最高値/最安値 以下			短M/中M 位置		連続高値更新本数以下	
出来高倍率 以下	最安値・最高値 周期			生中弾/中弾 位置		陽線・陰線	
最大出来高 周期	最安値/最高値 以上			生長弾/長弾 位置		50コスト上・下抜き	
最大出来高か?	最安値/最高値 以下			出来高比率 以上		JPシート 番号	

2番シートには、15日ハイローバンドが買い場

3番シートには、408番+3日ハイローバンドが買い転換

JP法分析シート自動チェック設定画面

自動チェックをする場合はこの画面を閉じないで下さい。

自動チェック  しない  する

条件シート番号  番 ~  番

チェック方法はどちら?  ORチェック  ANDチェック



## 直近



## 全期間



結果は当然同じとなります。

いかがでしたでしょうか・・・。

このようにJP2000ソフトのJPシートAND機能を使うと、さらにきめ細かいチェックが出来るようになります。

例えば、最安値周期が20日と40日などです。

WORKシートとの合わせ技は、今回のようにハイローバンドであれば可能です。

色々お試し下さい。